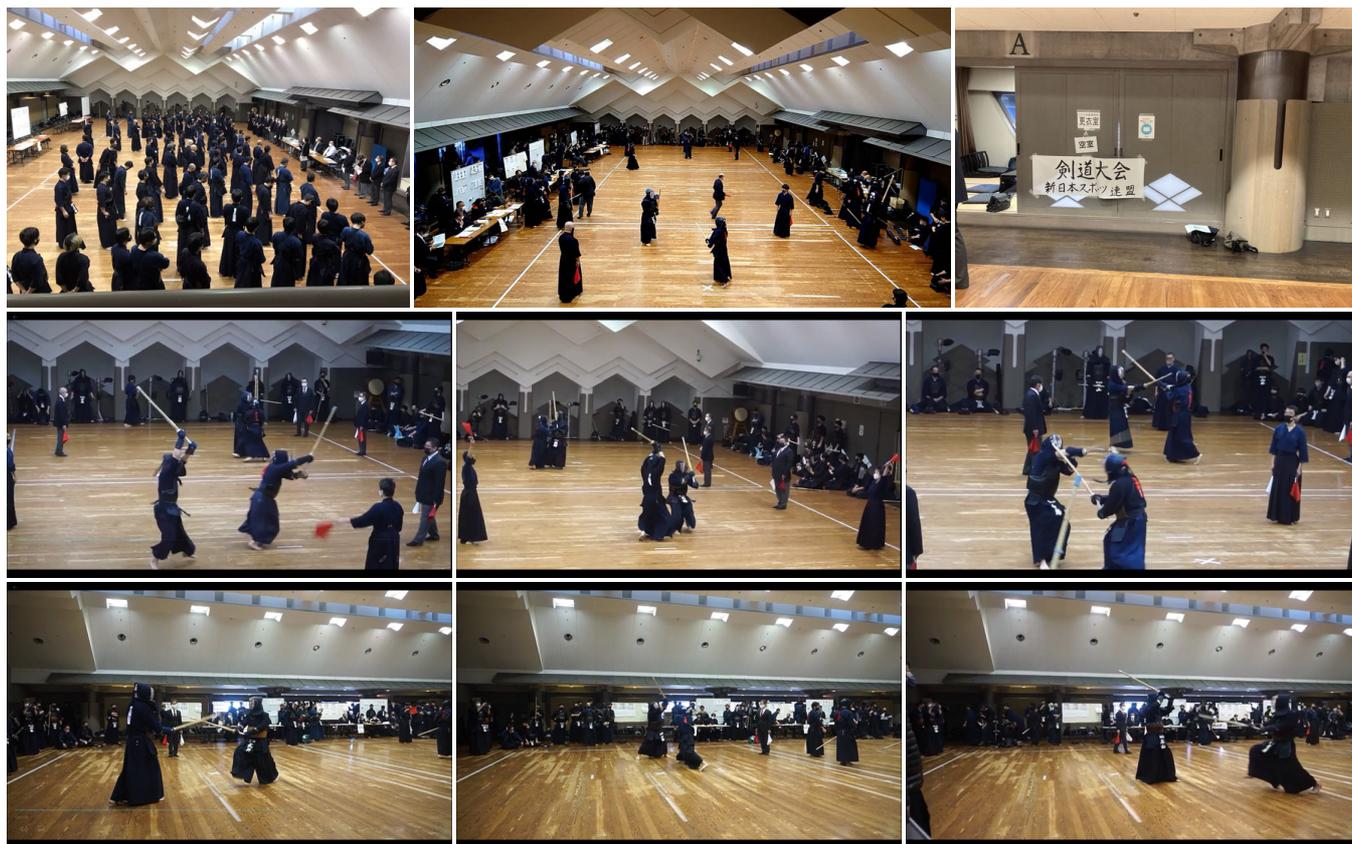


直心剣友会のホームページへようこそ！

東京スポーツ祭典剣道大会

11月27日、第59回東京スポーツ祭典剣道大会が東京武道館第二武道場で開催され、直心壮年部で参加しました。今回で59回目を迎える歴史ある大会であるものの、直心剣友会としては初めての参加となりました。本大会は3人戦のオープン大会で、直心壮年部ではチーム合計年齢120歳以上の部に菅原先生、花島先生、武井先生が参加、チーム合計119歳以下の部に徳久先生、高橋哲平先生、堀部大先生が参加しました。120歳以上の部では、あすなる剣友会に1-0で勝ちましたが、Hagakureyに0-1で敗退、予選リーグ2位で敗退しました。結局Hagakureyがそのまま勢いに乗って優勝しました。119歳以下の部は、遥和会に代表戦で勝ちましたが、Hagakureyの若手チーム（白）に0-3で敗退し、こちらも惜しくも予選リーグ敗退となりました。今回残念な結果となりましたが、いろいろ学びのある大会となり、今後の糧にしたいと思います。



級位審査2022年秋

11月13日、大栄B&G海洋センターにて剣道級位審査会が開催されました。今回2回目の受審する子供たちは慣れた様子で審査に向かってましたが、今回初めて受審する子供たち、また大人から始めて初めて級審査を受審する方たちについては、指導者も受審者もドキドキでした。結果は1級2名、2級2名、3級2名合格、残念ながら1級1名不合格となりましたが、当日陪席した徳久先生によるとみなさん素晴らしい立ち合いをされていたとのことでした。級や試合だけが剣道ではないですが、みなさんのモチベーションにつながったのではないのでしょうか。これからも一緒に稽古頑張っていきましょう！



印西市青少年剣道大会2022

11月3日、第29回印西市青少年剣道大会が松山下総合体育館で開催されました。コロナ禍で中止が続いていた印西市の大会も3年ぶりの開催となりました。直心剣友会としても公式戦は1年半ぶり、団体戦としては2020年2月の富里大会以来の参加となりました。今回試合に参加した5人とも初めての公式戦であり、参加エントリーの申し込みをした時点では、「まだ早いのでは?」「本当に大丈夫?」といった声もささやかれましたが、何とか無事当日の試合を迎えました。団体戦は北総中央Aチーム、Bチーム、印旛剣友会との4チームの総当たり戦で行われました。直心剣友会は残念ながら全敗でリーグ最下位となりましたが、果敢に攻めていく姿は今後に期待を持たせるものでした。個人戦もほぼ全員が初戦敗退で一本も取れないなか、低学年の部でようやく1人、メンを二本決め、なんとか初勝利を収めました!二回戦で敗退しましたが、立派な立ち合いでした。全体的には、初めての試合で緊張していて稽古でやっているような技がなかなか出なかったのですが、最後まで下がらずに戦い抜くことができました。次回大会に向けて指導陣ともに一緒に頑張っていきたいと思います!



社会人大会強化練習試合

8月28日、千葉県社会人大会の事務局が一般向けの錬成会を企画したので、直心剣友会壮年部で参加しました。場所はエアコン付きの船橋アリーナで行われましたが、千葉県の道場や社会人チームを中心に約40チーム、200名を越す参加者により熱戦が繰り広げられました。直心剣友会は年齢制限ありの一部に参加しましたが、午前3試合、午後3試合の計6試合で、5勝1敗と好成績を残しました。1日6試合とタフな状況でヘトヘトになりましたが、少年剣道で有名な上の台剣友会や浜町剣正会にも勝ち、非常に有意義な一日となりました。



印旛郡市民スポーツ大会2022

7月16日、大雨警報が心配されるなか、3年ぶりに印旛郡市民スポーツ大会が開催されました。本大会は、印旛郡の八つの市および郡（町）対抗で実施される大会で、先鋒が高校生、次鋒が女子、中堅から大将が3段以上の